

オオハンゴンソウの分布状況

はじめに

例年通り、平成27年8月4日環境省の提唱で各関係団体が参加して除去作業が行われた。今年は毘沙門沼周辺ではなく蛇平橋～諸橋美術館まで長瀬川に沿って根からの引き抜きでの除去作業となった。例年は蚊に刺されながらの作業であったが、今年は森の中ではなく459号道路端の炎天下の下での作業となった。今までとは勝手が違う分、大変疲労度の高い作業となり、参加者の熱中症対策が気になった。

裏磐梯地内については例年通りの調査となった。459沿いは夏前に1m程草刈りが実施される。

五色沼遊歩道内については五色沼モニタリング調査を参照ください。

調査日

平成28年 8月4日・15日・22日・24日・25日

調査方法

GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。

猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

【レベル基準】

- | | |
|---|---------|
| 1 | 10本以下 |
| 2 | 10～30本 |
| 3 | 30～100本 |
| 4 | 100本以上 |

調査範囲

- ・ 県道（猪苗代～米沢）剣ヶ峰交差点～早稲沢元スカイバレー入口跡
- ・ 村道 早稲沢～檜原
- ・ 国道459号線 磐梯朝日国立公園看板～元ゴールドライン入口跡
- ・ 村道 剣ヶ峰分岐～曾原～孤鷹森
- ・ 村道 五色沼入口～蛇平～小野川～グランデコリゾート
- ・ 村道 秋元湖入口～千貫橋
- ・ 村道 蛇平～クルミの森内
- ・ 県道 剣ヶ峰～レークライン入口跡～望湖台

考 察

人の活動域に沿ってオオハンゴンソウは拡散し、適応状況にあった場所で繁茂していくと思えるが、萱やススキ等と混在している川辺ではしぜんに消滅していくのかが分からない。日当たりの良い場所では繁茂状態が維持されるが日当たりの悪い場所では減少傾向にあるように思う。日当たりの良い水辺を含む草原などは一面オオハンゴンソウのお花畑のようになる。

毎回の調査により、人の侵入や工事の後で拡散し環境が適したところは繁茂していく過程が見えてくるので、レベル1～2の段階で私有地であっても、駆除しなければならないのではと思う。私有地ならば積極的に所有者へ説明し、花芽が付く前に前年に確認した場所を、そこが草刈できる場所ならばシーズン3回は草刈し、草刈りできない場所ならば葉に除草剤を塗布するやり方を伝えることをしていかなければならないと思う。1～2であれば消滅すると考える。

モニタリングにおいては、現在のところ駆除活動を実施しているわけでもなく、調査ということで自然任せの感がぬぐいきれず、正直これで良いのかという気がしています。全村で行動を起こすことを促すことをしない限りは果てしなく水辺を通して繁茂していくのではという危惧を持ちます。

啓蒙活動ももちろんのこと時間と人手をかけ、計画し実践していかなければ意味がないと思うが、現状では何もできていないので正直、反省と閉塞感しかない。

- 1・地区ごとへの啓蒙活動 として地区の分布図とオオハンゴンソウについてのチラシを作成し配布→3月の集落会合にて周知してもらう
- 2・地区を限定して駆除作業を実施

調査者 真野 真理子